



第
97
号

発行日：2025年7月1日

発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

住所：〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階

電話：077(526)7545

フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>

Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



＜事務局長から＞ 6月14日、令和7年度総会を開催。会員総数105名中委任状を含め63名が出席し、すべての議案が異議なく承認されました。また、今年度事業も皆様のご支援により順調にスタートを切りました。7月27日にピアザ淡海で開催する「おおつエコフェスタ2025」向けスタッフ一同鋭意準備を進めております。皆様におかれましては、猛暑に向かう折りくれぐれもご自愛くださいますように。

会員数105名 (2025年6月末現在)

トピックス

○ おおつ市民環境塾講座1「春の野草と樹木を楽しむ自然観察会」を開催しました

雨天順延となった5月18日、皇子が丘公園にて2025年度最初の講座、おおつ市民環境塾「春の野草と樹木を楽しむ自然観察会」を開催しました。申込者は22人でしたが日程変更等により参加は10人でした。

体育館前で挨拶の後、おおつ環境フォーラム会員の山本等氏の案内と解説で園内を巡りました。園内いたるところに花を咲かせた野草を見ることができました。普段は雑草とひとくくりにされている野草にも、ハルジオンやムラサキカタバミのようによく見るとかわいい花が咲いていたり、ヘビイチゴが実をつけていたりします。食べられる木の芽や野草の話もあり、小さいお子さんも最後までしっかり歩いて楽しんでくれました。講座を一日延期したために「大津っ子まつり」と重なり公園は大賑わいでしたが観察への影響はありませんでした。ただ、下見時にいろいろあった野草が観察会直前に刈られていたのは残念でした。



ハルジオン

○ おおつ市民環境塾講座2「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」を開催しました

5月24日、ふれあいプラザに同志社大学経済学部准教授 原田禎夫氏をお招きし、おおつ市民環境塾「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」を開催し、14人が参加されました。

プラスチックごみの海等での汚染状況と環境上での問題や人体にも影響が及ぶ危険性について説明がありました。日本近海はアジア各国から流出したプラごみが集まる傾向がありますが日本からの流出も多い。世界各国に比べ、日本はプラごみ規制意識が低いことやプラ包装が多く、プラごみ削減の仕組み作りに課題が多いとの指摘がありました。プラごみを減らす方策について、市民、行政、NPOが一体となってレジ袋禁止や水筒持参のための無料給水所設置などの仕組み作りを進めている亀岡市の取り組みや海外のPETボトルデポジット制度など豊富な実例に基づく説明がありました。後者は街からPETボトルごみが無くなるほど効果的ですが国が取り組まねば実現しません。焼却処分に偏ったプラごみの処理方法の見直しも不可欠です。



○ おおつ市民環境塾講座3「水再生センター施設見学」を開催しました

5月27日、由美浜の大津市企業局水再生センターにておおつ市民環境塾「水再生センター施設見学」を開催し、17人が参加されました。

会議室で挨拶のあと



中央監視室



生物反応槽



各段階の水質比較

DVDによる施設と処理過程の講義があり、続いて中央監視室、ポンプ室、沈殿池、生物反応槽、最終沈殿池、汚泥濃縮・脱水機等を職員の方の説明を聞きながら見学しました。きれいになった水は琵琶湖へ放流するとともに隣接施設で散水用に使用され、下水の熱を回収して空調用に利用し、また回収汚泥は脱水ケーキにして燃料にしています。まさに再生センターです。また、下水臭がほとんどしない施設でもありました。最後に設けられたQ&Aの時間には参加者から多くの質問が出され、それぞれに丁寧に答えていただきました。

○ 2つの自治会で地球温暖化防止と家庭の省エネに関する出前講座を実施しました

4月19日に蜚谷自治会の10人を対象に、温暖化の現状と原因、国の対策、家庭での対策等を概説した後、小冊子「家庭の省エネ簡易診断」を用いて自己診断をしていただきました。同自治会2回目を6月28日に8人を対象に実施し、パンフ「CO₂ゼロへの挑戦」No.1～7を用いて再エネや住宅断熱等の説明をしました。5月1日には北大路三丁目自治会の27人を対象に温暖化の話に加え「おおつエコライフチャレンジ」を説明しました。



2025年度大津市地球温暖化防止啓発等活動推進事業補助金に係る募集について

大津市は、温室効果ガス排出抑制や気候変動の影響軽減のために、市民団体が行う市民の行動変容を促す啓発活動等に要する経費の一部を補助する事業を開始しました。2026年1月15日までに完了する大津市内で行われる活動に対し最大5万円が補助されます。【申請期限】7月24日17時 詳細は大津市HP参照▶▶



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《子どもが遊べる川づくりプロジェクト》

4月24日、吾妻川上流の水車谷と片原町自治会館で、井田三良氏を講師に、当プロジェクトの7人と片原自治会の2人で水生生物の採集・同定と体験学習支援のための自主研修を行いました。採集場所は森林に囲まれた溪流で、多くの種類と数の水生昆虫が見つかりました。生き物の採集・同定だけでなく、川や生き物の大切さや観察の仕方をどう伝えたらよいかなどをお聞きし大変勉強になりました。今後、この研修の成果を小学校の生き物調査学習支援活動に活かしていきます。研修終了後、プロジェクトの活動計画についても打ち合わせました。



《生ごみリサイクルプロジェクト》

6月27日に市民活動センターで生ごみ堆肥化資材EMボカシづくりを実施し、5人で7個づくりしました。

《ビオトープづくりプロジェクト》

5月24日、春日山ビオトープで池の整備をしました。池の中にたくさんの枯れ枝が入っていました。また、ショウブが地下茎を伸ばして青々とした葉が生い茂っていました。池の中に落ちていた枯れ枝を全部すくい取



おおつエコフェスタ2025 を開催します

環境やエコ、エネルギーについて、工作やクイズをしながら楽しく学べる「おおつエコフェスタ」を開催します。わくわく体験ブースのほか、エコグルメブース、シールラリー、ステージイベントがあります。入場無料・申込不要

●日時 2025年7月27日(日) 10:30～15:00

●会場 ピアザ淡海3F大会議室・ホワイエ



り、池の中央まで伸びたショウブの地下茎を撤去しました。するとモリアオガエルの卵塊が見つかりました。

《里山保全プロジェクト》

6月7日、春日山公園横の棚田でライトトラップによる夜の昆虫観察会をしました。まだ6月上旬でしたが、ゲンゴロウの仲間やコガネムシの仲間など昆虫が集まりました。子どもたちは普段見慣れない夜の昆虫の世界を楽しんでいる様子でした。



■これからのフォーラム活動

[]内は予備日

プロジェクト等の名称	日 時	場 所・内 容
プロジェクト		
ビオトープづくり	7月 調整中 9:00	北大路どろんことーぶ補修整備、草刈
里山保全	7月 5日(土) 9:00	春日山公園/例会
	7月 21日(祝) 9:00	春日山公園/例会
エネルギー	7月 1日(火) 10:00	大津市センター/定例会議
	8月 5日(火) 10:00	大津市センター/定例会議
委員会・実行チーム		
おおつ市民環境塾実行チーム	8月 1日(金) 10:00	大津市センター/打ち合わせ
自然家族事業実行チーム	7月 5日(土) 10:00	大石緑地スポーツ村/川の日2「大石川たんけん」[7/12]
	8月 2日(土) 10:00	びわ湖大津館/びわ湖の日2「湖の学校」
おおつエコフェスタ実行チーム	7月 2日(水) 9:00	大津市センター/チラシ分け作業
	7月 4日(金) 15:00	ふれあいプラザ/エコフェスタ出展者説明会
	7月 26日(土) 18:00	ピアザ淡海/エコフェスタ会場準備

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）